

日本のピカソといわれた男

熊谷守一の世界

— 水墨画・書 —



「鯉」



「五風十雨」

平成17年 7月26日(火)～9月4日(日)

主催：大阪府立弥生文化博物館

後援：(財)大阪21世紀協会 和泉市教育委員会 泉大津市教育委員会

【講演会・展示解説】 午後1時30分～3時30分 1階ホール

8月3日(水) 対談「熊谷守一の書画」

講師：小灘紀(画家・日展評議員)

真鍋井蛙(熊谷守一水墨淡彩画鑑定登録会指定諮問委員)

大阪府立三國丘高等学校教諭(書道)

8月28日(日) 講演「熊谷守一の書画」

講師：真鍋井蛙

※いずれも、真鍋氏による展示解説あり。

【ワークショップ】 篆刻 名前を刻む～古代文字・弥生絵画～

8月7日(日) 午後1時30分～3時30分 地階セミナールーム

定員20名 参加費500円(入館料別)(事前の申し込みが必要です)

詳しくは大阪府立弥生文化博物館までお問い合わせ下さい。

一去一來

しんがく
しんがく
しんがく

「一去一來」

「もつと放つといて長生きさせてくれ」といって絵を描きつづけた男…
 「私は特別お国のためにしたことはない」と文化勲章を断った男…
 「上手なんてものは先が見えちまいますわ。行き先もちゃんと分かっていますからねえ。
 へたなのは、どうなるか分からない。スケールが大きいですわ」と言い切った男…
 「蟻は左の二番目の足から歩き出すんです」と言った生物学者のような男…
 そんな熊谷守一の水墨画と書の展覧会です。
 熊谷守一を知っている人も知らない人もこんな男の作った約40点の作品群。
 ほとんど未公開の作品ばかりで理屈ぬきに楽しみな展覧会です。
 この機会に是非皆さんに熊谷守二に会いに来ていただけたらと思います。

二〇〇五年 真鍋井蛙

日本のピカソといわれた男

熊谷守一の世界 — 水墨画・書 —



「葱坊主」



「鶏だく子供」

◎熊谷守一(くまがいもりかず) 年譜

- 1880(明治13)年 岐阜県恵那郡付知村(現・中津川市付知町)に生まれる。
- 1904(明治37)年 東京美術学校西洋画科専科を卒業。
- 1909(明治42)年 第3回文展に「ローソク」を出品。褒状を受ける。
- 1916(大正5)年 第3回二科展に「習作」「赤城の雪」を出品。二科会員に推挙される。
- 1928(昭和3)年 このころから、約10年間二科展の研究所で教える。
- 1932(昭和7)年 豊島区千早町に家を新築・転居。生涯ここで生活する。
- 1940(昭和15)年 第27回二科展に熊谷守一生涯60年記念として主要作品41点が特別陳列。
- 1947(昭和22)年 再建二科会に加入せず、二紀会結成に名をつらねる。
- 1951(昭和26)年 二紀会を離れ、後藤真太郎主宰の清光会同人となる。
- 1954(昭和29)年 後藤真太郎死去により清光会解散。以後どの団体にも属さず。
- 1961(昭和36)年 熊谷守一刊行会編「熊谷守一画集」(美術出版社)刊行。
- 1965(昭和40)年 近代における文人画とその影響展に「蝦蟇」「蝶」「寒山拾得」が選ばれる。
- 1967(昭和42)年 文化勲章の内示に辞退を申し出る。
- 1969(昭和44)年 木村定三編「熊谷守一作品撰集」刊行。
- 1971(昭和46)年 「へたも絵のうち」(日本経済新聞社)刊行。
- 1973(昭和48)年 「熊谷守一の書」(求龍堂)刊行。
- 1974(昭和49)年 熊谷守一書茂吉秀歌選展がギャラリー・なかつみで開かれる。
- 1975(昭和50)年 「熊谷守一クローッキー集 鳥獣虫魚」(神無書房)刊行。
- 1976(昭和51)年 郷里の岐阜県恵那郡付知町(現・中津川市付知町)に熊谷守一記念館が設立される。
「蒼蠅」(求龍堂)刊行。熊谷守一水墨小品展がギャラリー・なかつみで開かれる。
藤森武写真集「獨樂 熊谷守一の世界」(講談社)刊行。
- 1977(昭和52)年 水眠
- 1978(昭和53)年 「熊谷守一自撰水墨画集」(神無書房)刊行。
- 1980(昭和55)年 「書 熊谷守一」(神無書房)刊行。
- 1985(昭和60)年 熊谷守一美術館が守一が45年間住んだ東京都豊島区千早2に開館。
- 1997(平成9)年 「虫時雨」「無一物」(ともに世界文化社)刊行。

大阪府立弥生文化博物館 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

- 開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●休館日：毎週月曜日
- 入館料：一般300円[240円]・高校・大学生65歳以上200円[160円]・中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料(〔 〕内は団体料金・ただし20名以上)
- 所在地：〒594-0083 大阪府和泉市池上町443 【TEL】0725-46-2162 【FAX】0725-46-2165
- 交通：JR阪和線「信太山」駅下車 西へ約600m、南海本線「松ノ浜」駅下車 南東へ約1500m 【駐車場】普通車80台、大型バス7台(無料)

